

こんにはは町長です。

早いもので今年も残すところ1月余りとなりました。時間をみつけて1年の反省をしないといけないと特に気が焦るこの頃です。

さて、今回は気になった言葉 part 2 にしたいと思います。それは「ジリ貧ドカ貧」。ある新聞のコラムに載っていたのですが、現代の閉塞感や喪失感を表したものとされています。「このままやっていてもジリ貧なのだから、リスクはあっても一か八かに賭けたほうがいい」といった思考からスタートし、結果的に全てを失う状態になることを言ったものです。「ジリ貧を避けようとしてドカ貧になる。」が正しいかもしれません。「すべてをリセットしてやり直したい。」とすることから「焼け野原願望」とも呼ばれ、若い年代に広がっているそうです。危険な発想とする以前に、気の毒でなりません。主要先進国で最高水準の経済、治安などを備えるわが国で、希望が失われていくのは残念なことです。若いチャレンジャーのハングリーさや情熱、それらを暖かくかつ厳しく支える社会。あるべき姿は明確だと思のですが、なかなかその道筋が見えてきません。

そういえば、本年度のノーベル科学賞を受賞された方が述べておられました。何か



気球搭乗体験イベントであいさつをする町長

を成し遂げるために必要なことは何かとの問いに対して、「「eternal optimism」(不滅の楽観主義)」。来年に向けて、もう少し頑張れたかもしれないことの反省から取り掛かろうと思っています。

地域包括支援センターNews

介護予防講演会のお知らせ
～米子医療センター公開講座～



参加無料

「高齢者の腰背部痛」～骨粗鬆症を含む～

高齢者の方の多くが、ひざや腰の痛みを抱えています。症状が悪化すると、病気を引きおこし生活そのものの低下を招きかねません。

今回は、痛みと病気のお話しや、寝たきりにならないための日常生活についてなど、多くのお話しが聞けるチャンスです。いつまでも活動的な生活を送るためにも、ぜひ、この機会をとおして日頃の生活を振り返っていただきたいと思ひます。

皆さんのご参加をお待ちしております。

とき 12月7日(火) 13:30～15:00
ところ 溝口公民館 3階 大会議室
講師 米子医療センター 統括診療部長 医師
南崎 剛(みなみざき たけし) 先生

【問い合わせ先】
伯耆地域包括支援センター(総合福祉課 総合生活相談室内)
☎68-4632

ご冥福をお祈りします

氏名	年齢	地区
小司 俊幸	45	口別所
松岡 茂	82	久古
新谷 ふゆ	94	丸山
松下 敬	76	真野

福永良一	78	上細見
仲田 詔博	68	吉長
連達 芳博	89	溝口
松原 和枝	68	溝口
山根 熊雄	84	中祖

(敬称略)